

令和3年度海洋環境保全上適正な海底下 CCS 実施確保のための総合検討事業委託業務  
第1回 海底下 CCS 事業におけるモニタリング技術の適用方法のあり方に係る検討会

## 議 事 次 第

日時：2021年6月30日（水）14：00～16：00  
場所：環境省会議室、KANSO テクノス会議室等  
（Microsoft Teams による Web 会議形式）

### 議 事

開会（14：00）

1. 環境省挨拶
2. 検討委員紹介
3. 検討会座長の選任
4. 議事
  - (1) 検討会設置の趣旨及び検討委員名簿
  - (2) 2021年度実施計画及び検討会スケジュールについて
  - (3) 公表用資料（案）について
    - ・令和2年度苫小牧沖における冬季調査結果（概要版、詳細版）
    - ・公表用資料の図表類の変更について
  - (4) 許可の変更申請に係る運用の見直し（海洋環境の監視計画の内容及び異常が生じた場合の監視レベルの移行基準）について
  - (5) CO<sub>2</sub>分離・回収技術について
5. 連絡事項

閉会（16：00 予定）

### 配布資料

- ・資料-1：検討会設置の趣旨及び検討委員名簿
- ・資料-2：海底下 CCS 事業におけるモニタリング技術の適用方法のあり方に係る検討委託業務  
2021年度実施計画（案）及び検討会スケジュール（案）
- ・資料-3：2020年度第3回検討会議事録（案）
- ・資料-4(1)：【公表用資料】令和2年度苫小牧沖における冬季調査結果について（詳細版）
- ・資料-4(2)：【公表用資料】令和2年度苫小牧沖における冬季調査結果について（概要版）
  - ・参考資料 4-1：【公表用資料】令和2年度苫小牧沖における冬季調査結果について（図表集）
- ・資料-5：令和3年度以降の公表用資料（案）の図表集（案）
- ・資料-6：許可の変更申請に係る運用の見直しについて
  - ・参考資料 6-1：特定二酸化炭素ガスの海底下廃棄の許可の申請に係る指針（案）  
（海洋環境の監視計画の内容及び異常が生じた場合の監視レベルの移行基準）
  - ・参考資料 6-2：平成19年度海洋汚染等防止法改正の経緯
- ・資料-7：CO<sub>2</sub>分離・回収技術について

以上

令和3年度海洋環境保全上適正な海底下 CCS 実施確保のための総合検討事業委託業務  
第1回 海底下 CCS 事業におけるモニタリング技術の適用方法のあり方に係る検討会

出席者名簿

日時：2021年6月30日（水）14：00～16：00

場所：環境省会議室、KANSO テクノス会議室等

(Microsoft Teams による Web 会議)

検討委員（五十音順、敬称略）	
赤井 誠	産業技術総合研究所 名誉リサーチャー
尾崎 雅彦	元東京大学教授
海江田 秀志	電力中央研究所 地球工学研究所 首席研究員
(欠)小山 次朗	鹿児島大学名誉教授
(欠)佐藤 徹	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
下島 公紀	東京海洋大学 学術研究院 教授
白山 義久	京都大学名誉教授
(欠)鈴村 昌弘	産業技術総合研究所 環境創生研究部門 環境生理生態研究グループ 上級主任研究員
野尻 幸宏	弘前大学 大学院理工学研究科 教授
外部発表者（敬称略）	
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	
在間 信之	環境部 統括研究員
布川 信	環境部 主任研究員
オブザーバー（敬称略）	
環境省	
宮岡 俊輔	地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室 室長補佐
-----	
経済産業省	
平野 浩太郎	産業技術環境局環境政策課地球環境対策室 室長補佐
-----	
日本 CCS 調査株式会社	
萩原 利幸	取締役 貯留技術部長
川端 尚志	取締役 総務部長
重信 道郎	技術企画部 グループ長
澤田 嘉弘	国際部 部長
環境省、事務局	
環境省 水・大気環境局	
山下 信	水環境課 海洋環境室 室長
堀野上 貴章	水環境課 海洋環境室 室長補佐
-----	
事務局	
後藤 浩一	KANSO テクノス 東京支店 支店長
井岡 昇	KANSO テクノス 東京支店 マネージャー
松見 健	KANSO テクノス 環境部 水環境グループ リーダー
上田 哲大	KANSO テクノス 東京支店 技術グループ リーダー
杉山 貴紀	KANSO テクノス 東京支店 技術グループ